

## 事務事業評価シート(平成24年度実績分)

### (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名		
23421	公費給付事業(福祉医療制度拡大)	住民税務課	国保医療係	向山 光	赤羽 幸恵		
		一次評価年月日	平成 25 年 5 月 31 日	連絡先〔内線〕	2112		
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		予算コード	0340	事業名(歳出予算見積書)	公費給付事務
						#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ		章	(コード選択)	2章	支え合いとやすらぎのまちづくり	
			節	(コード選択)	3節	健やかな暮らしを守る社会保障の充実	
			項〔基本施策〕	(コード選択)	4項	福祉医療制度の充実	
			目〔主な施策〕	(コード選択)	2目	福祉医療制度の拡大	
	関連する計画等への位置づけ		<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間		(開始) S48 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし	

### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

辰野町在住の住民

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

福祉医療の拡大を行うことにより、今までより安定した暮らしができるようにする

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	福祉医療の範囲の拡大をするために費用負担額の検討
2	
3	
4	

### (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	子どもの該当年齢の追加の検討		15	15	18	0.83	18
	説明	子どもの該当年齢を15歳までを18歳までに拡大する		目標値設定の根拠		該当年齢を引き上げる		
②	指標名	障がい者区分の追加の検討		9	9	10	0.90	10
	説明	療育手帳のB2を該当者に追加する		目標値設定の根拠		該当区分を追加する		

### (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	福祉医療該当者数(子ども)		2,497	2,545	3,100	0.82	3,100
	説明	子どもの福祉医療に該当する人数		目標値設定の根拠		子どもの該当人数		
②	指標名	福祉医療該当者数(障がい者区分)		618	650	690	0.94	690
	説明	障がい者の福祉医療に該当する人数		目標値設定の根拠		障がい者の該当人数		

### (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度見込み														
		834	799	938	667														
対前年比 %		/	95.8	117.5	71.1														
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	0	0	0														
B) 一般財源(税金)		834	799	938	667														
①事業費 (千円)		200	222	328	222														
対前年比 %		/	111	147.7	67.7														
②人件費の概算 (千円)		634	577	610	445														
対前年比 %		/	91	105.8	72.9														
	課長	課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費		
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	/	/	/	/
町職員(正規職員)		0.01	0.02	0.02	0.04	0.00	0.00	0.00	0.04	0.02	0.02	0.02	0.07	0.08	0.06	634	577	610	445
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)												0	0	0	0		

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	B	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある → 対象区分の追加(H25年度より)
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

平成25年4月から受益者負担金を県と同等に引き上げる。それに伴い対象区分を子どもを15歳を18歳に引き上げ、療育手帳の程度をB2該当者まで拡大する。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

25年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

対象区分については常に検討が必要

受益者負担200円の差額分を、拡大した分に充てる

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

25年度から、受益者負担金を県並みに引き上げることで、「乳幼児および児童生徒」について対象者は0歳から18歳までとなる。十分な検討を重ねたうえで福祉の向上につながると考えられる。今後も様々な角度から検討を重ねていく必要がある。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

A. 貢献度 大    
  D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

→  上記 a~e を選択